

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立白岡高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	「自主と奉仕の精神」「社会に貢献」といった文言が盛り込まれ、学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。創立40周年を見据えて、白岡市や保護者から寄せられる学校への期待に十分応え、学校の特色や強みを更に生かしたものとなるようにしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域や保護者の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。今後学校が直面すると思われる課題を検討・整理した上で、中期的視点から、更に目標の重点化を検討することが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年のシートが作成され、企画委員会で連鎖を確認するなど、重点目標達成のための取組が進められている。各分掌・学年の中で調整を図りながら目標を達成する体制が整えられている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	現状に基づき、評価項目や評価指標が設定されている。評価指標の中には、学校評価アンケートにおける肯定的な指標を数値として掲げ、教職員間で達成イメージを共有できる分かりやすい指標もある。方策がここ数年大きな変更がないので、評価項目の達成を目指すより具体的なものにすることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	企画委員会、職員会議において、校長が学校の課題等に関して教職員の共通理解を図っている。校長のリーダーシップが的確に発揮され、教職員全体で組織的な取組を進めることが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	保護者の学校評価アンケートだけでなく、生徒に対する学校評価、授業、生活実態、学習実態といった種々のアンケートを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。アンケートや学校関係者の意見を更に分析して隠れている課題を読み取り、その結果を次年度の学校自己評価システムシートに有効に反映していただきたい。	
特記事項			